

新規事業採択時評価

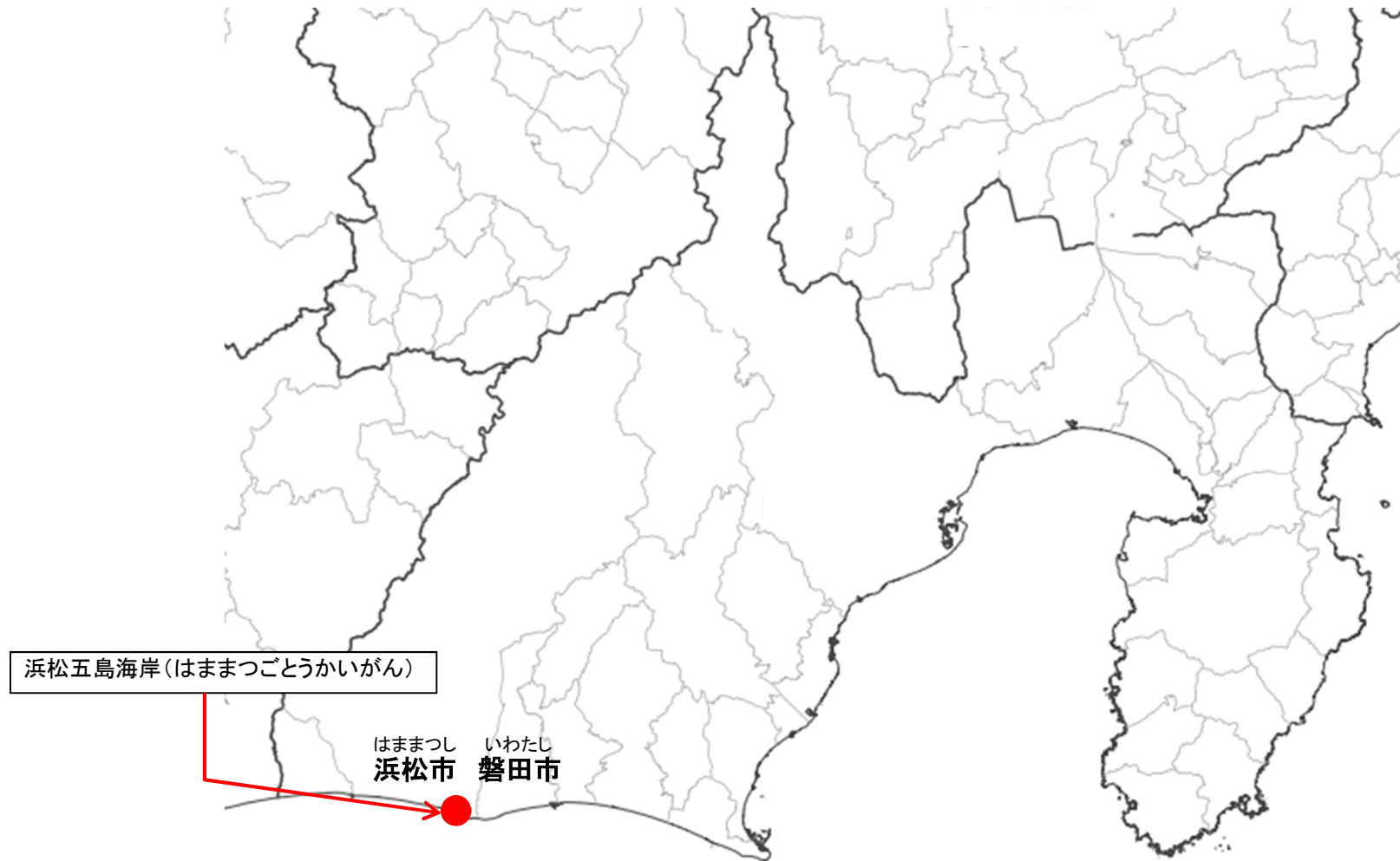
(補助事業)

【海岸事業】

- | | | |
|----------------------|-----------|---|
| ➤ 浜松五島海岸海岸保全施設整備連携事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | 1 |
| ➤ 串本海岸海岸保全施設整備連携事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | 3 |

事業名 (箇所名)	浜松五島海岸海岸保全施設整備連携事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 海岸室長 田中 敬也		事業 主体	静岡県					
実施箇所	静岡県浜松市南区松島町											
主な事業 の諸元	養浜工V=37,500m ³ 、突堤工L=117m											
事業期間	事業採択	令和2年度	完了	令和6年度								
総事業費 (億円)	3											
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> ・浜松五島海岸の海岸堤防背後には密集した住宅地や西遠浄化センターなどが立地しているが、計画規模の高潮・波浪が発生した場合、必要な浜幅が不足している状況であることから、越波・浸水等により甚大な影響が生じる恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> 浜松五島海岸において、隣接する一級河川天竜川の整備と連携した養浜及び、突堤の設置を計画的・集中的に実施し、早期に背後地の越波・浸水被害からの防護を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する</p>											
便益の主 な根拠	浸水被害軽減戸数:79戸 浸水被害軽減面積:45ha											
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度		C:総費用(億円)		14.0	B/C	9.2	B-C	114	EIRR (%)	—
感度分析	残事業費 (+10% ~ -10%) B/C(-) 残工期 (+10% ~ -10%) B/C(-) 資産 (-10% ~ +10%) B/C(-)											
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、砂浜の回復及び保全を図り、海岸堤防背後の高潮・波浪による越波・浸水被害を防ぐことができる。さらに、静岡県版レッドデータブックで絶滅危惧1A類に指定されているアカウミガメの産卵地を保全することができる。なお、本事業とともに、一級河川天竜川の河道掘削も一体的に行う計画であり、当該地域の海岸・河川の背後地において、越波・浸水被害からの防護が図られる。											
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等から構成される遠州灘侵食対策検討委員会を開催し、モニタリング結果及び事業実施状況を報告し、侵食対策の方向性を確認しながら事業を進めている。 加えて、令和2年3月に遠州灘侵食対策検討委員会の委員に意見聴取を行い、最新のモニタリング結果より、対策の必要性が高く、事業計画が妥当であることを確認した。											

【静岡県】事業実施箇所位置図(水管理・国土保全局所管)



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	串本海岸 海岸保全施設整備連携事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 海岸室 室長 田中 敬也	事業 主体	和歌山県												
実施箇所	和歌山県 東牟婁郡 串本町																
主な事業 の諸元	堤防の嵩上げ及び耐震化、水門の新設																
事業期間	事業採択	令和2年度	完了	令和6年度	5ヶ年												
総事業費 (億円)	38億円																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 串本海岸は背後地に多くの家屋や学校、警察署、町役場等の公共施設、西日本旅客鉄道紀勢本線、主要幹線道路である国道42号が存在しているが、今後発生する東海・東南海・南海3連動地震ならびに地震に伴う津波が発生した場合、既存の堤防等は先行振動により倒壊し、津波による浸水により甚大な被害が発生するほか、津波到達までの時間が短く、津波到達までに避難が困難な津波避難困難地域が存在している。</p> <p><達成すべき目標> 串本海岸において、近接する串本漁港の整備と連携して、計画的・集中的に堤防の嵩上げ、耐震化及び水門の設置を実施し、一連の背後地域における東海・東南海・南海3連動地震による津波の浸水被害を軽減し、避難時間を確保することにより財産と生命を防護する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等の災害による被害の軽減 ・施策目標:地震・津波等による被害の防止・減災を推進する</p>																
便益の主 な根拠	津波浸水軽減面積: 24ha 津波浸水軽減家屋数: 359世帯																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	令和2年度															
	B:総便益 (億円)	187	C:総費用(億円)	42	B/C 4.5												
				B-C	145												
				EIRR (%)	20												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.9</td> <td>~ 4.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.7</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.1</td> <td>~ 5.0</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.9	~ 4.2	残工期(+10%~-10%)	4.7	~ 4.3	資産(-10%~+10%)	4.1	~ 5.0
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	4.9	~ 4.2															
残工期(+10%~-10%)	4.7	~ 4.3															
資産(-10%~+10%)	4.1	~ 5.0															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、背後地の津波による浸水被害を抑制し、津波到達時間を遅らせ、津波から逃げ切る時間を確保することにより、生命を守ることができる。さらに、西日本旅客鉄道紀勢本線の浸水被害を抑制し、避難・救援・復旧活動への影響を軽減することができる。なお、本事業とともに、串本漁港の防波堤等も一体的に行う計画であり、串本地域の一連区間の海岸・漁港の背後地において地震・津波による浸水被害の軽減を図る。</p>																
その他	<p><学識経験者の意見・反映内容> 令和2年3月16日に学識経験者等第3者で構成される公共事業再評価委員会にて意見聴取を行い、事業計画及び費用対効果分析結果(B/C)について妥当性を確認した。</p>																

【和歌山県】事業実施箇所位置図(水管理・国土保全局所管)

